

令和6年度 学校評価委員会

令和7年2月 社会福祉法人天野会 塩原認定こども園

1. 教育・保育理念

☆良い環境の基に愛情を持って教育・保育をします。

☆ひとり一人を大切にし、心身ともに健やかに育成されることを支援します。

2. 教育・保育目標

*豊かな生活体験を通して自我の育ちを助長し「生きる力」の基礎となる「心情」「意欲」「態度」を培う。

*「明るく元気に遊ぶ子」「優しい心と健康な体を持った子」「創造性豊かな子」「自分で考え行動できる子」

3. 今年度の重点目標

*主体的に遊びや生活に関わって試行錯誤し、進んで体を動かして遊びを楽しむための環境を援助する。

*友達と互いに協力し合う遊びや活動、生活に向けた活動の展開

*コロナ禍で衛生管理を徹底し、人の命を預かることの重さを感じつつ、子どもたちの成長に何を優先するかを考え保育する。

4. 具体的な取り組み

*自分のしたい遊びを見つけて、試したり、工夫したりして遊ぶ楽しさや、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるような環境を設定する。

*友達と一緒に遊ぶことを楽しんだり、協力したりして遊びや活動に取り組むなど、発達に応じた協働性を育む。

*コロナ禍で感染症防止対策を徹底し、子どもの成長に必要な経験や体験を優先できるよう保育を工夫し行事を楽しむ。

5. 園評価結果とそれに対する学校関係者評価

評価 **A**・できている **B**・少しできている **C**・あまりできていない **D**・できていない

| 評価項目及び視点 | 評価点 | 自己評価（園・職員） | 評価点 | 学校関係者評価 |
|---|-----|---|-----|---|
| 教育・保育課程・指導 ・こども園の状況を踏まえた目標の設定状況 ・職員の共通理解状況 ・行事の管理・実施体制状況 ・年間の指導計画や週案等の作成状況 ・乳幼児に適した環境に整備され、学級経営の状況等 ・教育・保育要領に沿った、乳幼児の発達に即した指導の状況 | B | ・園児数が少なく子ども同士の関わりや、集団遊びの経験が十分できない環境なため、一人ひとりに必要な育ちを目標に設定する工夫をしている。また、職員の共通理解のもと指導計画の作成や行事の持ち方、クラス運営の状況等日々の共有ノートで確認し、職員会議では園児ひとり一人のPDCA（計画・実行・確認・改善）を発表し合い、成長の確認を共有している。 | A | ・人間性の基本作りができている。 ・少ない人数でも、できる事を自分で取組、「生きる力」を感じる。 ・こども園での生活が、学校生活へと繋がっている。 |
| 保健管理 ・家庭や地域の保健・医療機関との連携の状況 ・園保健計画の作成・実施状況・環境衛生管理の状況・日常の健康観察や疾病予防のための取り組み、健康診断の実施状況 | B | ・子育て相談センターとの連携 ・保健計画作成・保健便り発行 ・環境管理データ表作成 ・内科検診、歯科検診、尿検査年2回（入園児内科検診1回） ・眼科検診年1回 ・朝の視診で、健康観察台帳に記入している。 ・コロナウィルス感染症が5類に | A | ・感染症対策はしっかりできている。命に関わるようなこともなく安心している。 |

| | | | | |
|--|---|---|---|---|
| | | <p>なって以降、手足口病やマイコプラズマ肺炎等の感染症が全国的に流行したが、罹患者は少なく感染症についてはボードで状況を知らせた。</p> | | |
| <p>特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉等関係機関との連携状況 ・特別支援教育のための園内支援体制の整備状況 ・個別の指導計画や支援計画の作成状況 ・家庭との連携状況 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・国際リハビリテーションセンター・市の子育て相談センターと連携し出来る限りの支援を行っている。 ・発達支援コーディネーター研修、要保護児童対応研修に参加。今年度支援児はいなかったが支援児に加配保育教諭の配置を実施している。 ・児童相談所、子育て相談課との連携を取り、対象家庭の支援を継続的に行っている。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援児の対象が分かりづらく、他の家庭と比べてどうか親として心配な面はあるが、保育サポート等で先生との面談を持つことができています。 ・園としては、市の関係機関とも連携しているので、気軽に相談してほしい。 |
| <p>組織運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園長など管理職の目標の達成に向けたリーダーシップの状況、又他の職員からの信頼状況 ・園内職務分担が適切に機能するなど、明確な運営・責任体制の整備状況 ・園の財務運営の状況や公開状況 ・勤務時間管理状況等、服務監督状況 ・各種文書や個人情報等の園が保有する情報の管理状況、職員への情報取扱い方針の周知状況 ・園運営のための諸事務等の情報化の状況 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・法人間の園長・管理者会で会議開催している。 ・4月より職務分担表で責任体制の整備を実施、職務分担以外にも職員の協力が見られる。 ・勤務時間管理は、職員の働き方改革も含め、希望する日に休暇が取れるよう、就業規則を各種法令遵守のうへ改定した。新たに、子の看護休暇で中学校入学前の子を有する職員等は、その子が負傷、疾病により通学できない日について、1年間に5日を限度として休暇をとることができる。 ・園児数減少に伴い、配置職員数も減り本園での休日保育の実施が難しくなったため、同法人のひまわり保育園に事業を移し、法人の職員が協力し勤務体制を改善した。 ・個人情報の管理は、園のマニュアルに準じて実施している。 ・園の財務状況は法人のホームページで公開しています。 ・法人ホームページ http://www.amano-kai.com | A | <ul style="list-style-type: none"> ・少ない職員数であっても、協力体制ができています。 |
| <p>研修（資質向上の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育の継続的实施など、指導改善の取組状況 ・園内における研修の実施体制の整備状況 ・園内研修・園外研修の実施・参加状況 ・個人の自己研賛の学び状況 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ研修は各職員ほぼ研修を完了し、資質向上に努めている。 ・発達支援・虐待研修・不適切保育防止についての研修など、積極的に参加した。 ・園内研修を充実させ、今年度は絵本をもとに、子どもとの関りを保護者の意見も取り入れ、主幹保育教諭主導で月1回実施した。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の興味を引き出し、毎日楽しく園に通い、たくさんの学びができていと感じる。 |
| <p>保護者・地域住民との連携</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・園行事における保護者の協力、 | | <ul style="list-style-type: none"> ・地域はもちろんのこと、地域 |

| | | | | |
|--|---|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 園運営への保護者、地域住民の参画及び協力の状況 地域住民から寄せられた具体的な意見や要望の把握・対応の状況 園や地域団体との連絡の充実の状況・地域の自然や文化財、伝統行事などの教育資源の活用状況 保護者・地域住民を対象とするアンケートの結果 | A | <ul style="list-style-type: none"> 地域、関係機関（学校・公民館）の協力には常に感謝している。 家庭教育学級の実施はありませんでしたが、公民館さんを講師に招き保育参加のかたちで、伝統行事に触れ実施することができた。 地域の伝統行事にはできる限り参加した。（ひなめぐり作品展示） 保護者アンケートは、年間を通し実施、次年度計画に反映させている。地域に対しては口頭で意見を聞いている。 地域に対して、高齢者と触れ合う行事を行う事が出来た。また、クリスマスには地域のビート塩原さんの歌を鑑賞した。 | A | <p>の枠を超えてたくさんの体験ができ、お互いを尊重した取り組みができている。</p> |
| <p>子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域や保護者の実情や要望による園の子育ての支援活動の状況 保育教諭のカウンセリングの基礎の理解と相談機能の状況 他の関係機関との連携状況 | A | <ul style="list-style-type: none"> 園児に関しては、他機関へ繋ぐ、相談に応じる、アドバイスするなど、実践している。 職員は「発達支援コーディネーター」研修に参加し保育、保護者相談に応じる体制をとっている。 今年度支援児はいないが、子育て相談センターとは気になる子についての情報交換をしている。 他の子育て支援事業所への視察研修を行った。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 環境を生かして、これからも地域になくってはならないことも園である。 |
| <p>預かり保育</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者の実情や要望による預かり保育の実施状況 園や保育教諭の受入体制の状況 こども園の目的、教育・保育課程との関連、乳幼児の負担、家庭との連携等への配慮 | A | <ul style="list-style-type: none"> 現在育児休暇の取得や、乳児組からの入園により、一時預かり実績はない。 申込書、面談、緊急時対応、アレルギー等聞き取りをする。利用日前に、園の開放を利用し親子で遊びにきて慣れてもらう取り組みも積極的に行った。 休日保育も、同法人のひまわり保育園の職員と協力し、受け入れを行った。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティの新しい形として、働く環境を整え地域として、安心して子どもを預ける場は大切にしたい。 |
| <p>教育・保育環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設・設備 <ul style="list-style-type: none"> 施設、設備の安全・維持管理のための点検、整備取組状況 情報化の共有状況 ○遊具・用具・図書等 <ul style="list-style-type: none"> 遊具・用具・図書等の整備状況 学習・生活環境の充実のための取組状況 | B | <ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の安全・維持に関しては、業務委託（消防・藤興産・学校薬剤師(矢野美弘)・110番通報(メディカルコミュニケーションズ)・建物(宮沢建設)・害虫駆除(サニクリーン) その他日常点検は職員が交代で点検記録をしています。 遊具・用具の整備も日常は職員が点検記録し、砂場の砂は年1回交換をしました。 食育としてのプランター栽培、ザリガニの飼育等を積極的に行った。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 災害時の安全について、落下物・転倒防止対応ができているが、引き続き安全な環境を心がけいく。 園として、緊急災害時対応に加え、BCP計画も整っている。 |
| <p>教育・保育目標</p> | | <ul style="list-style-type: none"> 今年度は「人と関わる力を育み生 | | <ul style="list-style-type: none"> 元気の過ごし、色々なものに |

| | | | | |
|---|---|--|---|--|
| <p>○教育・保育目標の設定と自己評価の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園の実態、保護者や地域住民の意見・要望等を踏まえた園としての目標等の設定状況 ・園の状況を踏まえ重点化された目標等の設定状況 ・自己評価が年1回以上定期的に実施行われているかなどの状況 ・自己評価の結果の翌年度の目標等の改善への活用状況 ・外部アンケート等の実施と自己評価への活用状況 <p>○学校関係者評価の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者その他の学校関係者による主体的・能動的な評価が年1回定期的に実施されているかなどの実施状況 ・学校関係者評価が自己評価を踏まえたものになっているかなどの状況 ・学校関係者評価のための組織の構成状況 ・学校関係者評価の結果の翌年度の目標等の改善への活用状況 <p>○園に対する保護者の意見・要望等の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の満足度の把握の状況 ・教育・保育相談体制の整備状況、保護者の意見や要望の把握・対応状況 | B | <p>活を楽しむ」「小学校への円滑な接続を目指す」「心を揺さぶられる体験を大切にす」保育を目標に、10の姿が芽生えるよう保育教育を行った。子ども主体の遊びの環境設定で安心・安全を考慮したうえでの探索活動や、保育教諭自身のアイディア力を発展させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者評価の年1回実施。学校長・PTA会長・地域児童委員・保護者会役員等で構成。 ・学校関係者評価、保護者アンケート等を踏まえ、「保育課程」を作成し、指導計画に生かす。 ・結果はホームページで公開する。 http://www.amano-kai.com ・園には苦情相談窓口が設置し、苦情対応の研修も受けている。アンケート、保護者役員会等を通して、お互いの意見、要望の話し合いを進めている。安心して子どもを預けることができる園を目指し、行事の他、保育サポートの実施で子どもたちの日常を見て頂く。 | B | <p>興味も広がり教育・保育環境は整っていると感じる。保護者としてこれからも協力をしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校として児童数が減少していて、大きな学校と比較すると意見の多さは弱い、深い教育ができる小規模校の良さがある。学校として教育委員会との連携も含め今のところ塩原小中学校についての在り方は変わらない。 ・学校の児童数減少、こども園の園児数減少については、旧PTAの意見、若い親の意見こどもの意見を尊重していきたい。 |
|---|---|--|---|--|